

（津房水力発電事業性評価調査）

1. 事業の目的

津房水力発電の事業性を検討するため、地形測量、地質調査、流量調査、基本設計、事業性評価、正常流量調査、用地調査、補償調査を実施する。

2. 事業の内容

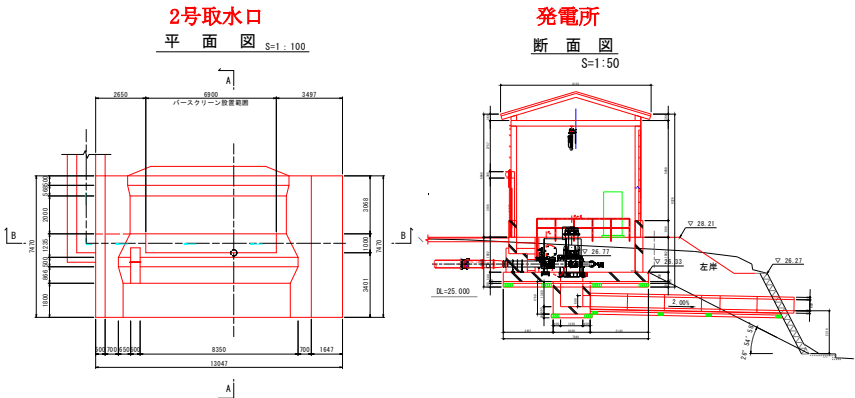
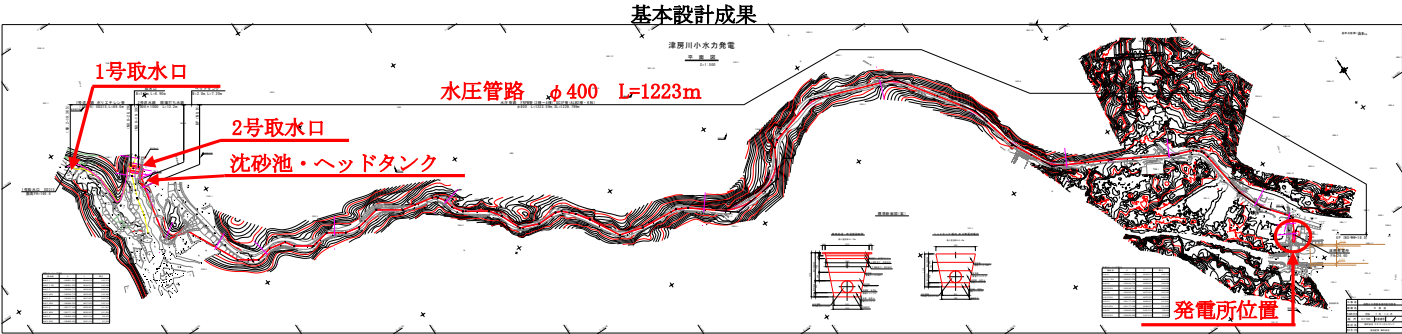
- (1) 事業者名
福地産業株式会社
- (2) 補助事業の名称
津房水力発電事業性評価調査
- (3) 事業期間
令和7年6月11日 ～ 令和8年2月26日
- (4) 調査を実施する発電設備の概要
- a. 発電形式 : 水路式
 - b. 使用水量 : 0.289m³/s
 - c. 有効落差 : 102.03m
 - d. 出力 : 199kW

3. 令和7年度の事業実施概要

- ① 流量調査
取水地点の水位観測及び流量観測を行った。
- ② 地形測量
取水地点、水圧管路経路、発電所計画予定地の地形測量及び縦横断測量を行った。
- ③ 地質調査
取水地点、水圧管路経路、発電所計画予定地の地耐力調査を行った。
- ④ その他調査(正常流量調査)
取水地点、放流地点での水位観測、流量調査及び現地調査(魚類・底生動物・水質調査)を行った。
- ⑤ 用地調査・補償調査
用地測量(境界確認・立会等)及び補償調査(立竹木の調査・補償)を行った。
- ⑥ 基本設計
水力発電に係る、基本事項の検討、計画図面作成、諸計算、事業性能評価を行った。
- ⑦ 事業性評価
上記調査・設計を踏まえ事業の全体像及び事業費等を把握し、事業性の確認、事業実施の判断を行った。

4. 事業の成果

初期投資額、運営費、発電量および売電収入を基にキャッシュフロー分析を行った結果、20年間のIRRは-5.23%となり、投下資本に対する収益性は確保されないことが確認された。また、累積キャッシュフローは事業期間を通じて黒字化せず、初期投資の回収も達成されない収支構造である。以上より、現行の事業条件下では、本事業は経済性および収益性の観点から事業性が成立していないと評価される。



5. 事業スケジュール

項目	令和7年								令和8年		備考
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		
基本設計											
地形測量										現地踏査、基準点測量、基準点網図、一部平面図作成	
流量調査											
地質調査											
その他調査										正常流量現地踏査 正常流量調査11.08～09	
用地調査、補償調査											
							凡例		実施工程		



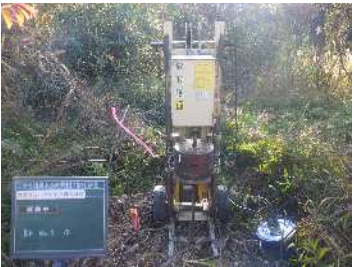
流量観測調査



正常流量調査 (魚類)



正常流量調査 (水質試験)



地質調査又は地耐力調査



測量状況



地権者立会状況